

株式会社タケエイ(東1: 2151)

2020年3月期

第3四半期決算 補足説明資料



2019年12月1日より稼働している株式会社北陸環境サービス「平栗第2管理型処分場」(石川県金沢市)

当第3四半期決算の概況【連結】

<累計>

単位:百万円

	2018/12 <実績>		2019/12 <実績>		前年同期比
	売上高比		売上高比		
売上高	—	23,283	—	27,290	+17.2%
営業利益	6.2%	1,432	8.1%	2,223	+55.2%
経常利益	5.0%	1,155	7.3%	1,981	+71.5%
税金等調整前 四半期純利益	1.5%	340	6.8%	1,864	+447.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は純損失	—	-97	3.8%	1,041	—

※百万円未満切捨て

<四半期>

単位:百万円

	第1四半期			第2四半期			第3四半期		
	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比
売上高	8,439	—	+14.4%	9,305	—	+18.3%	9,545	—	+18.7%
営業利益	470	5.6%	+126.5%	964	10.4%	+82.3%	788	8.3%	+13.3%
経常利益	429	5.1%	—	827	8.9%	+67.1%	724	7.6%	+8.7%
税金等調整前 四半期純利益	440	5.2%	—	819	8.8%	—	605	6.3%	-10.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	221	2.6%	—	459	4.9%	—	361	3.8%	-14.0%

※百万円未満切捨て

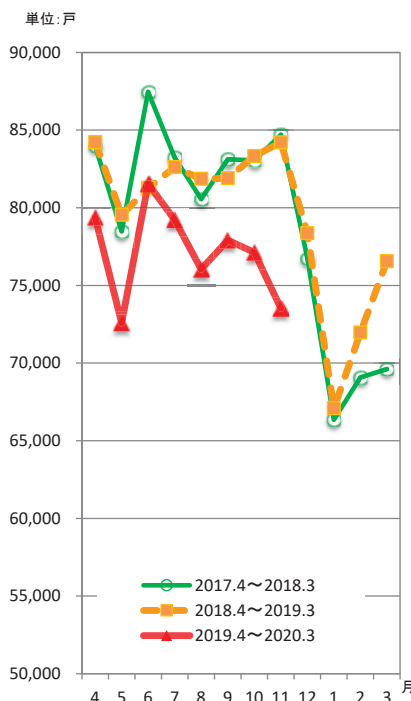
業績に影響を与えた要因

- ・㈱タケエの業績が順調に推移し、前年同期を大幅に上回る売上高・営業利益を挙げ、グループ業績を牽引した。
- ・㈱横須賀バイオマスエナジーが2019年11月1日より営業を開始した。

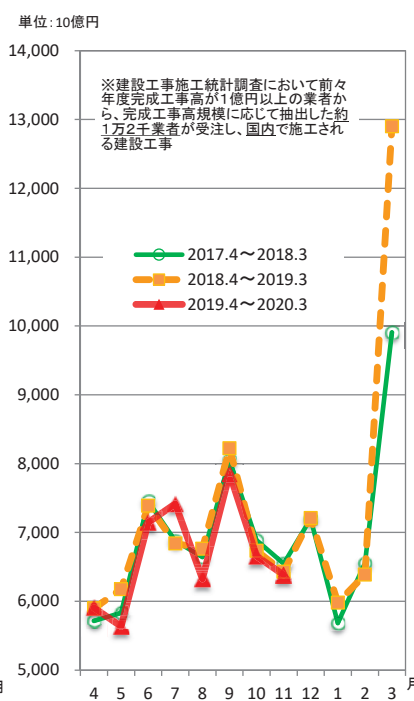
市場環境

(出所:国土交通省)

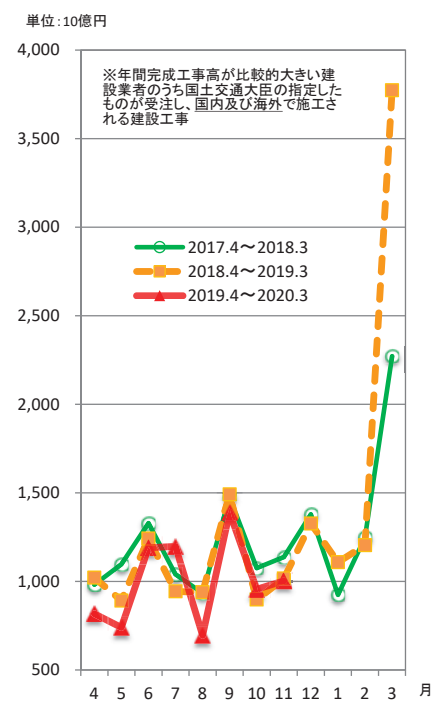
新設住宅着工戸数



建設工事受注



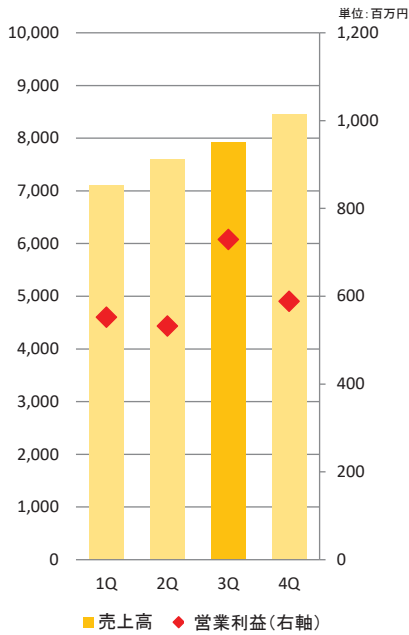
建設工事受注(大手50社)



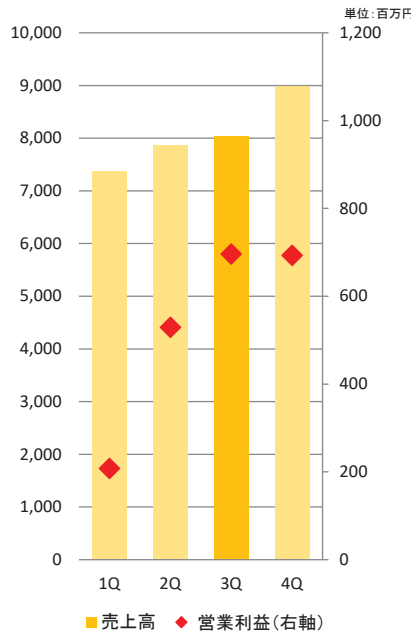
※いずれも公表されている11月度までの数値にて作成

直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

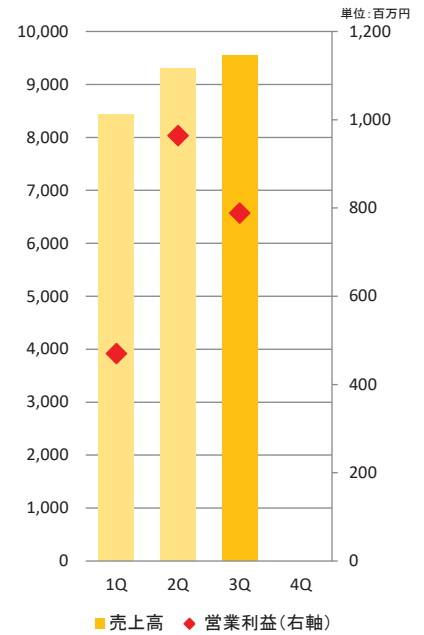
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益

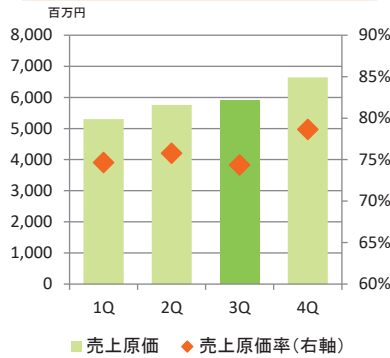


2020年3月期
売上高・営業利益

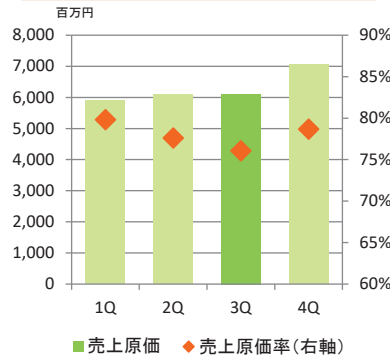


直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

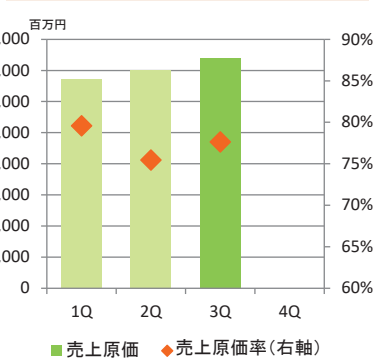
2018年3月期
売上原価・売上原価率



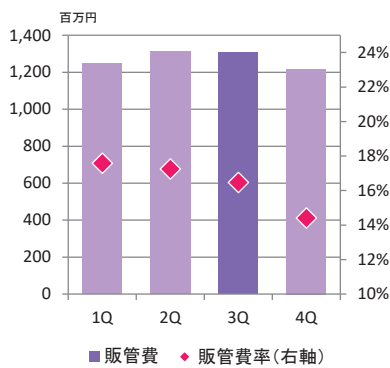
2019年3月期
売上原価・売上原価率



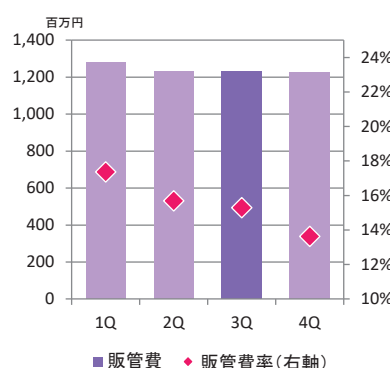
2020年3月期
売上原価・売上原価率



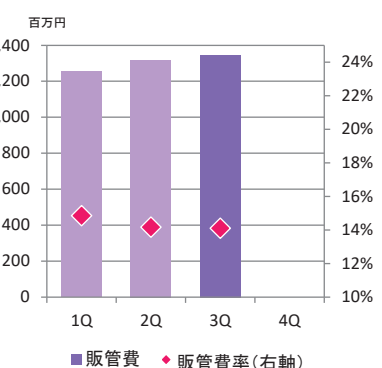
販管費・販管费率



販管費・販管费率

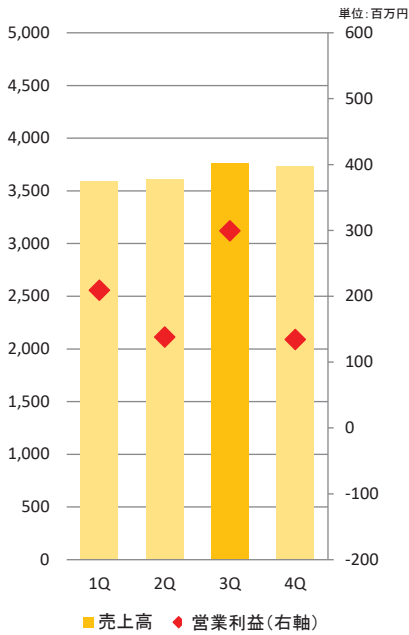


販管費・販管费率

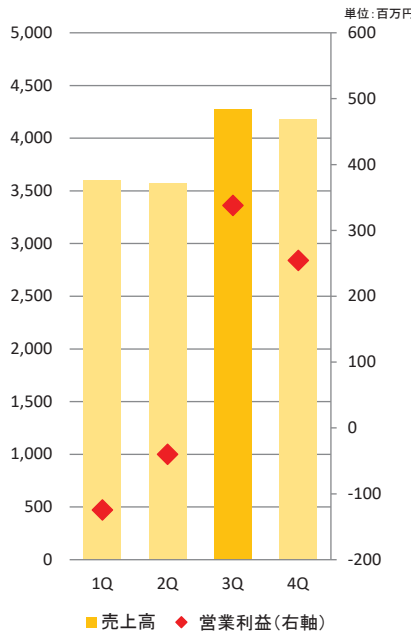


直近3事業年度における四半期決算比較【単体】

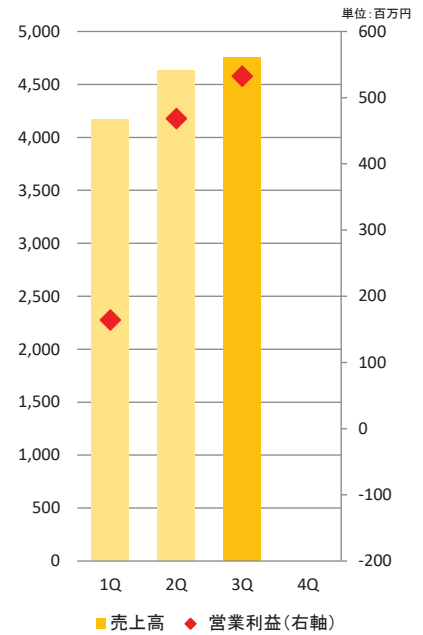
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益

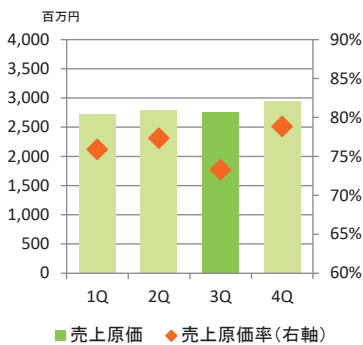


2020年3月期
売上高・営業利益

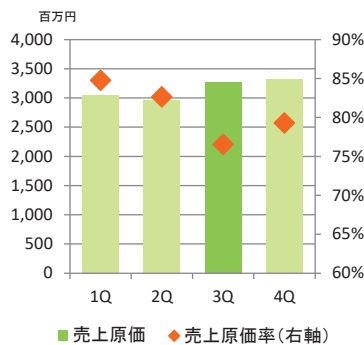


直近3事業年度における四半期決算比較【単体】

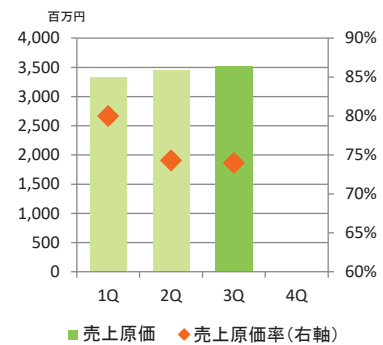
2018年3月期
売上原価・売上原価率



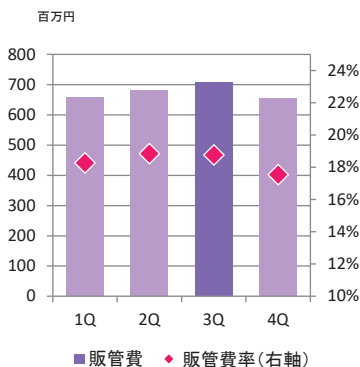
2019年3月期
売上原価・売上原価率



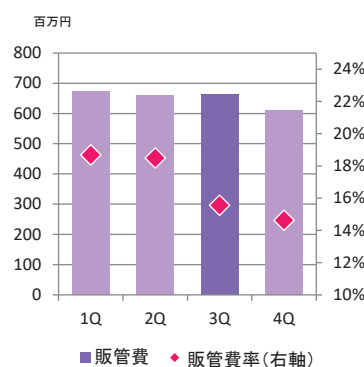
2020年3月期
売上原価・売上原価率



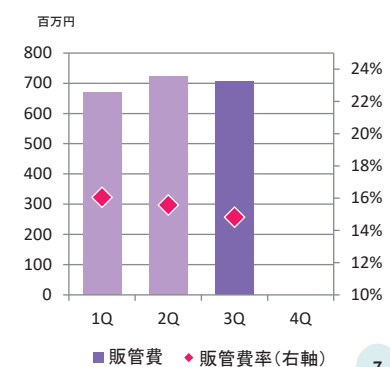
販管費・販管費率



販管費・販管費率



販管費・販管費率



事業カテゴリー別売上高及び営業利益【連結】 <累計>

Only One Earth



単位: 百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2018/12	2019/12	前年同期比	2018/12	2019/12	前年同期比	2018/12	2019/12
連結	23,283	27,290	+17.2%	1,432	2,223	+55.2%	6.2%	8.1%
廃棄物処理・リサイクル事業	17,597	19,368	+10.1%	1,099	1,868	+70.0%	6.2%	9.6%
(株)タケエイ(単体)	11,452	13,560	+18.4%	173	1,165	+574.3%	1.5%	8.6%
マテリアル&ランドフィル	6,145	5,808	-5.5%	926	702	-24.1%	15.1%	12.1%
再生可能エネルギー事業	3,067	5,030	+64.0%	185	228	+23.2%	6.0%	4.5%
環境エンジニアリング事業	3,140	3,858	+22.9%	1	38	+5814.3%	0.0%	1.0%
環境コンサルティング事業	1,089	961	-11.8%	121	79	-34.5%	11.1%	8.3%
連結消去	-1,610	-1,926		27	11			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

(注) 1: 事業カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算

(注) 2: 公表日時点で監査未了

グループ各社の売上／営業利益【連結】 <累計>

単位: 百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2018/12	2019/12	前年同期比	2018/12	2019/12	前年同期比	2018/12	2019/12	
連結	23,283	27,290	+17.2%	1,432	2,223	+55.2%	6.2%	8.1%	
<廃棄物処理・リサイクル事業>									
(株)タケエイ	11,452	13,560	+18.4%	173	1,165	+574.3%	1.5%	8.6%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
<マテリアル>									
(株)池田商店	665	473	-28.9%	227	104	-54.3%	34.1%	22.0%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	587	570	-3.0%	211	208	-1.8%	36.0%	36.4%	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ関東	275	245	-11.1%	-5	-62	—	—	—	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ東北	174	175	+0.6%	-29	-22	—	—	—	石膏ボードの再資源化
(株)タケエイメタル	872	694	-20.4%	64	26	-58.6%	7.3%	3.8%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交易(株)	185	165	-11.0%	32	18	-43.9%	17.4%	11.0%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造(再資源化)
イコールゼロ(株)	1,157	1,137	-1.8%	87	91	+5.1%	7.5%	8.0%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
(株)タケエイグリーンリサイクル	487	578	+18.6%	-14	24	—	—	4.1%	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
<ランドファイル>									
(株)北陸環境サービス	873	798	-8.6%	320	268	-16.3%	36.6%	33.6%	管理型最終処分場の運営・廃プラスチックの再資源化
(株)信州タケエイ	785	892	+13.7%	37	59	+61.4%	4.7%	6.7%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化・解体等
(株)タケエイエナジー&パーク	84	82	-2.6%	17	12	-27.7%	19.7%	14.6%	最終処分場の跡地利用(パークゴルフ場運営・太陽光発電)
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-21	-23	—	—	—	<事業準備会社>管理型最終処分場
<再生可能エネルギー事業>									
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	※※-0.2	※※-0.3	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
(株)津軽バイオマスエナジー	1,165	1,148	-1.4%	104	133	+27.1%	9.0%	11.5%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオマスエナジー	1,073	1,061	-1.1%	69	79	+14.8%	6.4%	7.5%	木質バイオマス発電
(株)田村バイオマスエナジー	—	—	—	-29	-40	—	—	—	<事業準備会社>木質バイオマス発電
(株)横須賀バイオマスエナジー	—	103	—	-17	-150	—	—	—	木質バイオマス発電 ※11月1日より営業開始
(株)大仙バイオマスエナジー	—	1,219	—	-17	87	—	—	7.2%	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	460	473	+2.8%	29	19	-36.1%	6.3%	3.9%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)津軽あつぷるパワー	108	183	+69.5%	12	22	+87.8%	10.8%	12.0%	小売電気事業
(株)花巻銀河パワー	261	263	+0.9%	34	41	+20.4%	13.0%	15.6%	小売電気事業
(株)大仙こまちパワー	—	513	—	※※-0.2	32	—	—	6.2%	小売電気事業
(株)横須賀アーバンウッドパワー	—	67	—	—	6	—	—	8.7%	小売電気事業 ※11月1日より営業開始
<環境エンジニアリング事業>									
富士車輛(株)	3,140	3,858	+22.9%	1	38	+5814.3%	0.0%	1.0%	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
<環境コンサルティング事業>									
環境保全(株)	539	506	-6.1%	46	28	-39.1%	8.6%	5.6%	環境計量証明事業
(株)アースアプレイザル	551	455	-17.3%	75	51	-31.7%	13.6%	11.2%	環境コンサルティング
連結消去	-1,610	-1,926		27	11				

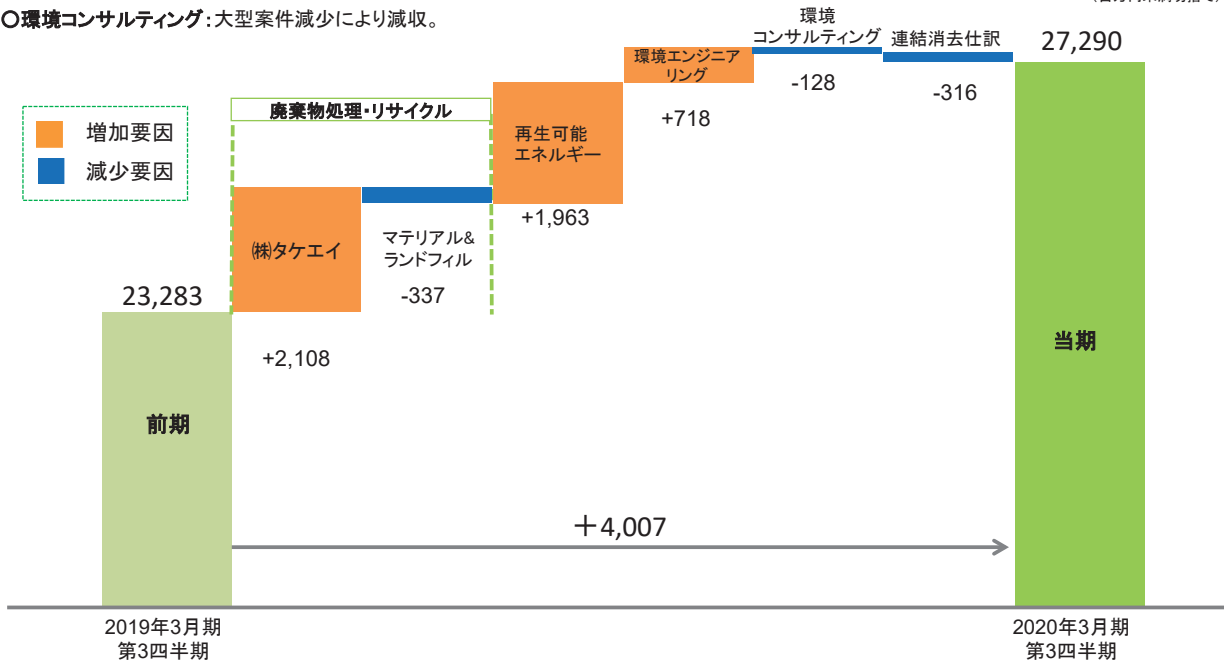
※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

※※少額のため小数点以下まで表示

事業カテゴリー別売上高 増減分析（連結）

- ㈱タケエイ**: 再開発・インフラ整備に伴う受注が堅調に推移。東北復興PJも貢献。
- マテリアル&ランドフィル**: 池田商店の大ロスホト案件減少、タケエイメタルは金属スクラップ相場下落が影響。信州タケエイは搬入量増加等で増収。
- 再生可能エネルギー**: 大仙バイオマスエナジーが安定稼働により売上確保。小売電気事業各社も販売好調。
- 環境エンジニアリング**: 受注・完工ともに順調。
- 環境コンサルティング**: 大型案件減少により減収。

単位: 百万円
(百万円未満切捨て)

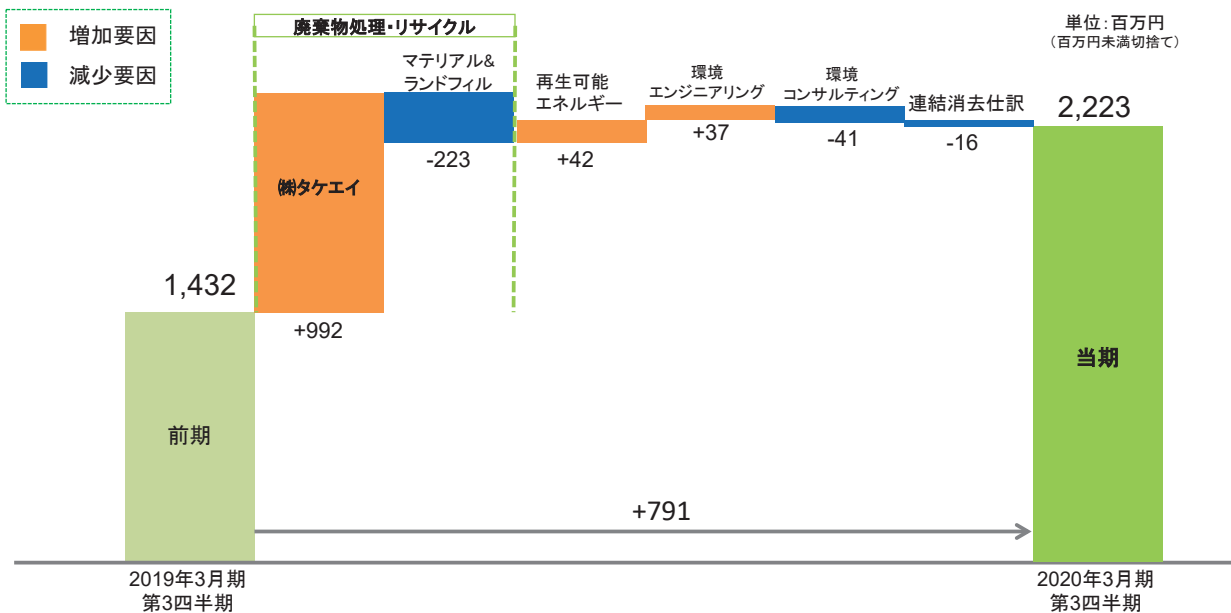


(注): 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

事業カテゴリー別営業利益 増減分析（連結）

- ㈱タケエイ**: 外部処理費等の上昇に対応した原価低減策の継続及び採算性改善により、利益確保。
- マテリアル&ランドフィル**: 廃石膏ボード2社及び池田商店、タケエイメタルが売上減少に伴う減益。信州タケエイは売上増加に伴う増益。
- 再生可能エネルギー**: バイオマス発電3社は効率的な安定操業により、小売電気事業各社も販売好調により、いずれも増益。
- 環境エンジニアリング**: 受注・完工ともに順調。
- 環境コンサルティング**: 大型案件減少による売上減少に伴って減益。

単位: 百万円
(百万円未満切捨て)



(注): 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

損益動向 (連結)

単位:百万円

	2019/12			第1四半期			第2四半期			第3四半期		
	<累計>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比
売上高	27,291	100.0%	+17.2%	8,440	100.0%	+14.4%	9,305	100.0%	+18.3%	9,546	100.0%	+18.7%
売上原価	21,149	77.5%	+16.8%	6,716	79.6%	+14.0%	7,022	75.5%	+15.1%	7,411	77.6%	+21.2%
(うち) 外注費	6,839	25.1%	+12.6%	2,082	24.7%	+0.5%	2,304	24.8%	+22.7%	2,453	25.7%	+15.6%
労務費	4,740	17.4%	+4.3%	1,578	18.7%	+5.4%	1,560	16.8%	+5.1%	1,602	16.8%	+2.6%
経費	11,009	40.3%	+31.0%	3,519	41.7%	+30.9%	3,611	38.8%	+31.8%	3,879	40.6%	+30.3%
(うち) 旅費交通費	421	1.5%	+2.1%	135	1.6%	+1.2%	143	1.5%	+6.1%	142	1.5%	-0.7%
燃料費	554	2.0%	-4.8%	183	2.2%	-0.1%	180	1.9%	-6.5%	192	2.0%	-7.3%
業務委託費	560	2.1%	+34.6%	161	1.9%	+19.4%	174	1.9%	+40.6%	225	2.4%	+42.9%
消耗品費	627	2.3%	+0.1%	210	2.5%	-6.0%	206	2.2%	+1.0%	211	2.2%	+6.0%
地代家賃	184	0.7%	+0.0%	63	0.8%	+7.2%	61	0.7%	-3.6%	60	0.6%	-3.1%
リース料	258	0.9%	+25.6%	90	1.1%	+38.0%	84	0.9%	+37.3%	84	0.9%	+6.3%
修繕費	1,008	3.7%	+9.1%	326	3.9%	+29.3%	283	3.0%	-1.8%	399	4.2%	+4.0%
電力費	316	1.2%	+133.6%	98	1.2%	+75.7%	116	1.2%	+150.1%	102	1.1%	+208.0%
減価償却費	2,039	7.5%	+30.4%	608	7.2%	+19.2%	628	6.7%	+21.3%	803	8.4%	+49.8%
商品・原材料仕入高	4,236	15.5%	+54.6%	1,390	16.5%	+61.4%	1,527	16.4%	+68.6%	1,320	13.8%	+35.6%
仕掛品増減高	-475	-1.7%	—	-190	-2.2%	—	-172	-1.8%	—	-114	-1.2%	—
他勘定振替高	-648	-2.4%	—	-165	-2.0%	—	-185	-2.0%	—	-297	-3.1%	—
有価物売上控除額(▲)	-307	-1.1%	-24.6%	-108	-1.3%	-21.7%	-95	-1.0%	-28.2%	-104	-1.1%	-24.1%
売上総利益	6,142	22.5%	+18.6%	1,724	20.4%	+15.7%	2,283	24.5%	+29.5%	2,135	22.4%	+10.9%
販売費及び一般管理費	3,918	14.4%	+4.6%	1,253	14.9%	-2.2%	1,319	14.2%	+6.9%	1,346	14.1%	+9.5%
人件費	2,399	8.8%	+3.2%	759	9.0%	-5.2%	834	9.0%	+8.1%	807	8.5%	+7.2%
その他経費	1,519	5.6%	+6.9%	495	5.9%	+2.6%	485	5.2%	+4.8%	539	5.6%	+13.2%
(うち) のれん償却	36	0.1%	-30.9%	12	0.1%	-30.9%	12	0.1%	-30.9%	12	0.1%	-30.9%
営業利益	2,224	8.1%	+55.2%	470	5.6%	+126.5%	965	10.4%	+82.3%	789	8.3%	+13.3%
営業外収益	86	0.3%	-0.1%	33	0.4%	+0.4%	39	0.4%	+72.4%	15	0.2%	-53.0%
(うち) 持分法による投資利益	13	0.0%	+1.5%	11	0.1%	+31.9%	5	0.1%	+615.5%	-2	0.0%	—
営業外費用	329	1.2%	-9.6%	74	0.9%	-70.0%	176	1.9%	+211.9%	79	0.8%	+29.4%
(うち) 支払利息	129	0.5%	+5.2%	42	0.5%	+6.2%	42	0.4%	+2.1%	45	0.5%	+7.3%
社債発行費	110	0.4%	—	—	—	—	104	1.1%	—	6	0.1%	—
経常利益	1,981	7.3%	+71.5%	429	5.1%	—	828	8.9%	+67.1%	724	7.6%	+8.7%
特別利益	199	0.7%	+509.5%	12	0.1%	+24.6%	11	0.1%	-3.3%	175	1.8%	+1489.3%
特別損失	315	1.2%	-62.8%	1	0.0%	-99.4%	20	0.2%	-97.0%	294	3.1%	+14596.4%
税金等調整前四半期純利益	1,865	6.8%	+447.2%	440	5.2%	—	819	8.8%	—	605	6.3%	-10.4%
法人税等	762	2.8%	+110.0%	177	2.1%	+322.8%	299	3.2%	+431.9%	286	3.0%	+7.9%
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	0.2%	-19.0%	42	0.5%	+25.2%	61	0.7%	+18.0%	-42	-0.4%	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,042	3.8%	—	221	2.6%	—	459	4.9%	—	361	3.8%	-14.0%

※百万円未満 四捨五入

貸借対照表の動向（資産）（連結）

	2019/3末		2019/12末		増減額
		構成比		構成比	
(資産の部)					
流動資産	18,591	26.2%	23,064	29.4%	4,472
現金及び預金	9,387	13.2%	13,067	16.6%	3,680
受取手形及び売掛金	5,911	8.3%	5,879	7.5%	-31
商品及び製品	21	0.0%	28	0.0%	7
仕掛品	915	1.3%	1,330	1.7%	415
原材料及び貯蔵品	1,120	1.6%	1,137	1.4%	16
未収入金	845	1.2%	1,080	1.4%	234
その他	399	0.6%	547	0.7%	147
貸倒引当金	-10	-0.0%	-7	-0.0%	2
固定資産	51,549	72.6%	54,469	69.4%	2,920
有形固定資産	48,229	67.9%	51,100	65.1%	2,871
建物及び構築物	9,756	13.7%	11,759	15.0%	2,002
機械装置及び運搬具	8,541	12.0%	11,418	14.5%	2,876
最終処分場	494	0.7%	3,488	4.4%	2,994
土地	18,311	25.8%	18,399	23.4%	88
建設仮勘定	10,691	15.0%	5,624	7.2%	-5,066
その他	433	0.6%	409	0.5%	-24
無形固定資産	856	1.2%	782	1.0%	-74
のれん	277	0.4%	240	0.3%	-36
その他	579	0.8%	541	0.7%	-37
投資その他の資産	2,463	3.5%	2,586	3.3%	123
投資有価証券	468	0.7%	533	0.7%	64
退職給付に係る資産	111	0.2%	149	0.2%	37
繰延税金資産	338	0.5%	322	0.4%	-16
その他	1,830	2.6%	1,858	2.4%	28
貸倒引当金	-286	-0.4%	-277	-0.4%	8
繰延資産	906	1.3%	947	1.2%	40
資産合計	71,047	100.0%	78,481	100.0%	7,433

- 現金及び預金 <増加要因>・株タケエイ(+3,146)
・富士車輛㈱(+271)
・株大仙ハイオスマエナジー(+135)
- 仕掛品 <増加要因>・富士車輛㈱(+339)
- 未収入金 <増加要因>・株横須賀ハイオスマエナジー(+367)
・株北陸環境サービス(+257)
<減少要因>・大仙ハイオスマエナジー(-402)
- その他
…前払費用<増加要因>・株タケエイ(+137)
- 建物及び構築物 <増加要因>・株横須賀ハイオスマエナジー(+1,156)
・株北陸環境サービス(+388)
・株タケエイグリーンリサイクル(+319)
- 機械装置及び運搬具 <増加要因>・株横須賀ハイオスマエナジー(+3,013)
- 最終処分場 <増加要因>・株北陸環境サービス(+3,098)
- 建設仮勘定
<増加要因>・株タケエイ(+345)
・株田村ハイオスマエナジー・木質ハイオスマ発電所(+354)
<減少要因>・株北陸環境サービス・管理型処分場(-338)
・株横須賀ハイオスマエナジー・木質ハイオスマ発電所(-2,159)
・株タケエイグリーンリサイクル・工場完成(-356)

※百万円未満切捨て

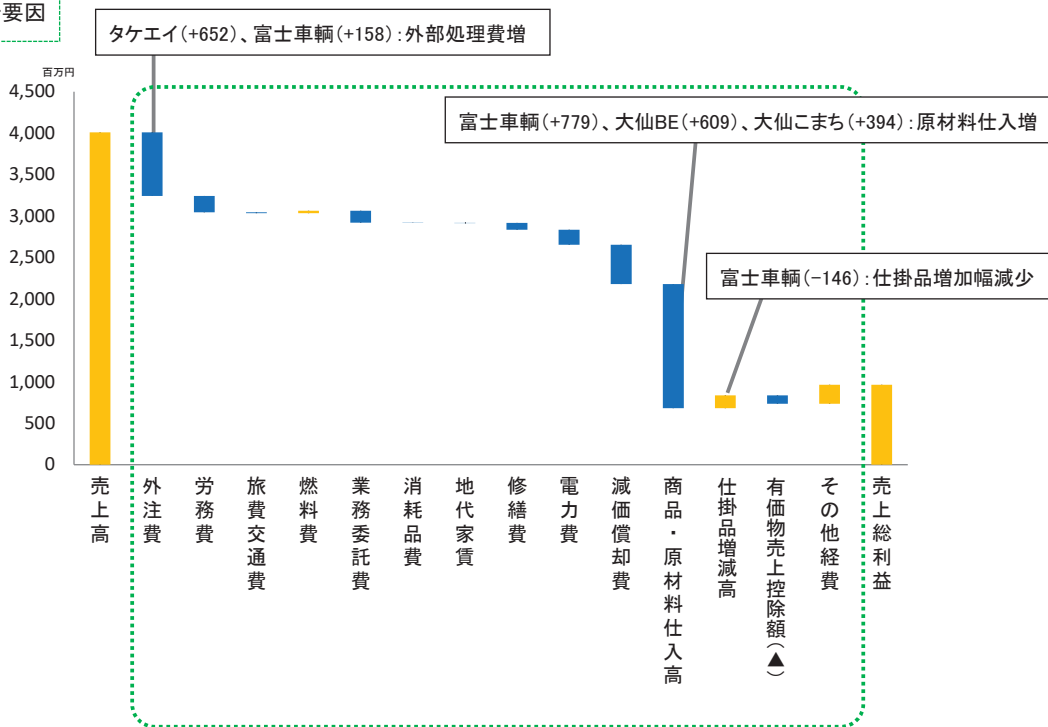
貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

	2019/3末		2019/12末		増減額
		構成比		構成比	
(負債の部)					
流動負債	12,668	17.8%	13,592	17.3%	924
買掛金	1,594	2.2%	1,466	1.9%	-128
1年内償還予定社債	70	0.1%	596	0.8%	526
短期借入金	732	1.0%	962	1.2%	230
1年内返済予定の長期借入金	5,643	7.9%	5,377	6.9%	-266
未払法人税等	386	0.5%	451	0.6%	64
修繕引当金	59	0.1%	50	0.1%	-8
機械式立体駐車場関連損失引当金	786	1.1%	565	0.7%	-221
災害損失引当金	—	—	197	0.3%	197
その他	3,395	4.8%	3,926	5.0%	531
固定負債	31,418	44.2%	37,259	47.5%	5,841
社債	430	0.6%	5,119	6.5%	4,689
長期借入金	28,835	40.6%	28,884	36.8%	48
繰延税金負債	377	0.5%	410	0.5%	33
退職給付に係る負債	348	0.5%	358	0.5%	10
修繕引当金	31	0.0%	29	0.0%	-1
役員株式給付引当金	39	0.1%	88	0.1%	48
資産除去債務	465	0.7%	405	0.5%	-60
圧縮未決算特別勘定	617	0.9%	1,780	2.3%	1,163
その他	273	0.4%	183	0.2%	-90
負債合計	44,087	62.1%	50,852	64.8%	6,765
(純資産の部)					
株主資本	25,992	36.6%	26,573	33.9%	581
資本金	6,640	9.3%	6,640	8.5%	—
資本剰余金	7,180	10.1%	7,186	9.2%	6
利益剰余金	13,486	19.0%	14,061	17.9%	575
自己株式	-1,314	-1.8%	-1,314	-1.7%	-0
その他の包括利益累計額	76	0.1%	161	0.2%	85
その他の有価証券評価差額金	68	0.1%	154	0.2%	85
退職給付に係る調整累計額	7	0.0%	7	0.0%	0
非支配株主持分	891	1.3%	892	1.1%	1
純資産合計	26,960	37.9%	27,628	35.2%	668
負債純資産合計	71,047	100.0%	78,481	100.0%	7,433

- 買掛金 <減少要因>・富士車輛㈱(-177)
- 機械式立体駐車場関連損失引当金 <減少要因>・富士車輛㈱(-221)
- 災害損失引当金《台風被害》・株タケエイ 浮島モータープール護岸 +88
リサイクルセンター他 +89
- その他：前受金 <増加要因>・富士車輛㈱(+343)
- 社債 <増加要因>・株タケエイ(長短合算 +5,215:新規 +5,250、償還 -35)
- 長期借入金 <増加要因> 長短合算 -217:新規 +4,250(株タケエイ)
返済 -4,246(株タケエイ)
- 圧縮未決算特別勘定 株田村ハイオスマエナジー(+1,163 ※補助金)

※百万円未満切捨て

増加要因
減少要因



設備投資・減価償却費および従業員数・車両台数の推移（連結/単体）

<設備投資・減価償却費>

<従業員数・車両台数>

単位:百万円

	2018年4-12月 (3Q累計)	2019年4-12月 (3Q累計)	2019/3 (通期)	2020/3 予想 (通期)
設備投資				
連結	5,269	5,445	8,817	10,066
うち 株タケエイ	538	906	1,112	1,700
減価償却費				
連結	1,695	2,234	2,397	3,362
うち 株タケエイ	728	887	1,034	1,384
のれん償却	53	36	65	49

	2019/3末	2019/6末	2019/9末	2019/12末
期末従業員数 (人)				
連結	1,277	1,300	1,298	1,293
うち 株タケエイ	608	625	624	610
収集運搬車両 (台) 単体	278	286	282	288

※百万円未満 四捨五入

主な設備投資 2020年3月期 第3四半期までの実績

株タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	9億円
株北陸環境サービス	新規処分場造成工事	10億円
株門前クリーンパーク	処分場造成工事	1.1億円
株タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	1.6億円
株田村バイオマスエナジー	発電施設整備	3.5億円
株横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

主な設備投資 2020年3月期 計画

株タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	17億円
株北陸環境サービス	新規処分場造成工事	9億円
株門前クリーンパーク	処分場造成工事	22億円
株タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	2億円
株田村バイオマスエナジー	発電施設整備	12億円
株横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

単位：百万円

	2019/3 <実績>		2020/3 <予想>			3Q累計	
		売上高比		売上高比	前年同期比	<実績>	前年同期比
売上高	32,271	—	36,600	—	+13.4%	27,290	+17.2%
営業利益	2,125	6.6%	3,100	8.5%	+45.8%	2,223	+55.2%
経常利益	1,814	5.6%	2,800	7.7%	+54.3%	1,981	+71.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	275	0.9%	1,500	4.1%	+444.2%	1,041	—

※百万円未満切捨て

通期連結業績予想については、2019年10月30日に公表した連結業績予想から修正はありません。

【ご参考】(株)津軽バイオマスエナジー「ふるさと企業大賞」受賞

(株)津軽バイオマスエナジーは「令和元年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」を受賞いたしました。



長谷川総務副大臣より表彰状を授与されました



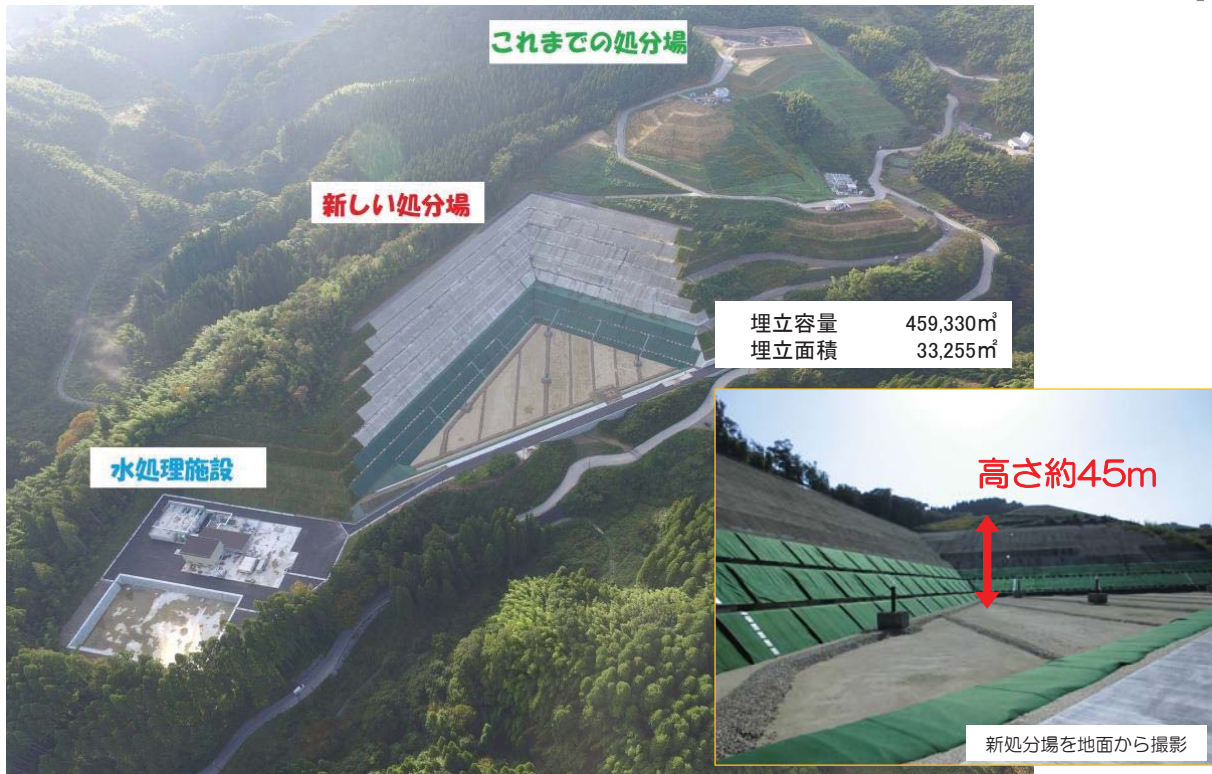
「ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」とは、（一財）地域総合整備財団（ふるさと財団）が、地域振興に資する事業を展開する民間事業者を検証し、その活動を全国に広く周知することにより、地域の振興、地域経済の活性化と魅力あるふるさとづくりの推進に資することを目的とした賞です。

津軽バイオマスエナジーは、地元産の燃料材を利用した発電事業により電力の地産地消を実現し、発電事業やトマト栽培（発電時の余熱を利用）において、地元の雇用創出にも寄与したとのご評価をいただきました。

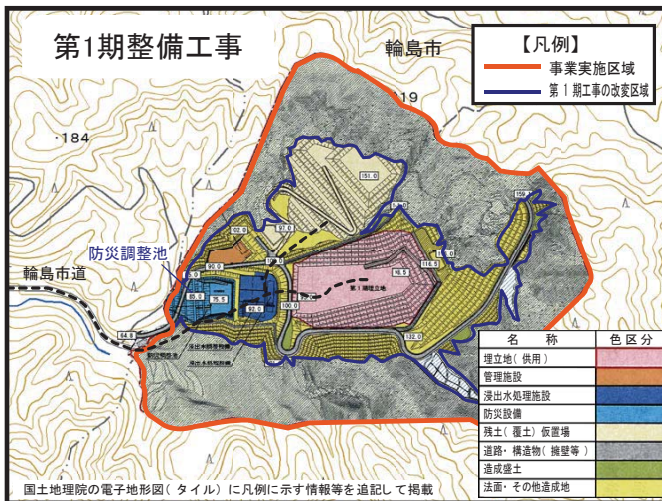
これからも地域に根差した発電事業運営に努め、地域経済の振興ならびに森林保全、更には『脱』炭素社会の実現に貢献できるよう、タケエイグループ丸となって邁進いたします。



発電時の余熱を利用して栽培しているトマト「アイコ」とアイコで作ったジュースのセット



(株)北陸環境サービスでは「平栗第2管理型処分場」が竣工し、2019年12月1日より廃棄物の受け入れを開始しました。これにより北陸地方での活発な都市開発案件に一層貢献できるだけでなく、同じ石川県輪島市にて管理型処分場を建設中の(株)門前クリーンパークの事業運営にもノウハウを活用できると見込んでおります。



石川県輪島市に計画している(株)門前クリーンパーク 管理型最終処分場の第1期工事は、順調に進捗しています。

	埋立容量	埋立面積	埋立予定年月
第1期	83.6万m ³	5.16ha	11年7か月
第2期	173.1万m ³	8.46ha	24年6か月
第3期	86.4万m ³	5.75ha	11年9か月
3期合計	343.1万m ³	17.26ha	47年10か月

(第1~3期の埋立面積合計は、重複部分があるため一致しません)



令和元年台風第15号及び台風第19号の
災害廃棄物発生推計量及び処理完了目標時期

単純計算で
すでに180万トン超

環境省の中間集計(12/23)では約174万トンと公表されたが、集計途中の自治体等もあり、実際にはそれを上回る見込み

都道府県	災害廃棄物発生推計量(万トン)	処理完了目標時期																						
		令和元年				令和2年								令和3年										
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
岩手県	約 5	令和元年10月～令和3年3月(約1年6ヶ月)																						
宮城県	約 35	令和元年10月～令和3年3月(約1年6ヶ月)																						
福島県	約 56	令和元年10月～令和3年4月(約1年7ヶ月)																						
茨城県	約 9	令和元年10月～令和3年3月(約1年6ヶ月)																						
栃木県	約 10	令和元年10月～令和2年10月(約1年)																						
群馬県	約 0.3	令和元年10月～令和2年3月(約6ヶ月)																						
埼玉県	約 6	令和元年10月～令和3年3月(約1年6ヶ月)																						
千葉県	約 39	令和元年9月～令和3年3月(約1年7ヶ月)																						
長野県	約 20	令和元年10月～令和3年9月(約2年)																						

過去の災害における廃棄物発生量及び処理期間

災害名(発生年月)	災害廃棄物量	処理期間
東日本大震災(2011年3月)	3,100万トン	約3年(除:福島県)
阪神淡路大震災(1995年1月)	1,500万トン	約3年
熊本地震(2016年4月)	311万トン	約2年
平成30年7月豪雨※(2018年7月)	200万トン	約2年(予定)

※西日本を中心とする広い範囲に被害をもたらした、前線及び台風第7号による大雨

※1 令和元年台風第15号及び台風第19号の災害廃棄物発生推計量については、災害廃棄物処理事業費補助金を利用予定の17都府県のうち9県のみが推計を行っており、残る8都府県については今後、都府県ではなく市町村が推計を行う予定。

※2 推計がされている9県の現時点の推計量を単純に合計すると約180万トンになるが、流木や農業関係の災害廃棄物を推計に含めていない県があること、残る8都府県について今後市町村が推計を行う予定であることなどから、令和元年台風第15号及び台風第19号の災害廃棄物発生量は実際には174万トンを超えている可能性が高いことに留意が必要。

出典：災害廃棄物対策に関するシンポジウム(2020年1月14日開催) 配布資料より
(左上記載の過去の災害における廃棄物発生量及び処理期間のデータも同じ)

災害廃棄物は事業によって発生した廃棄物ではないため「一般廃棄物」に分類されるが、近年改正された廃棄物処理法によって『国、都道府県、市町村及び民間業者は(中略)相互に連携・協力しつつ、適切に役割を分担して取り組む責務を有する』と規定されている。

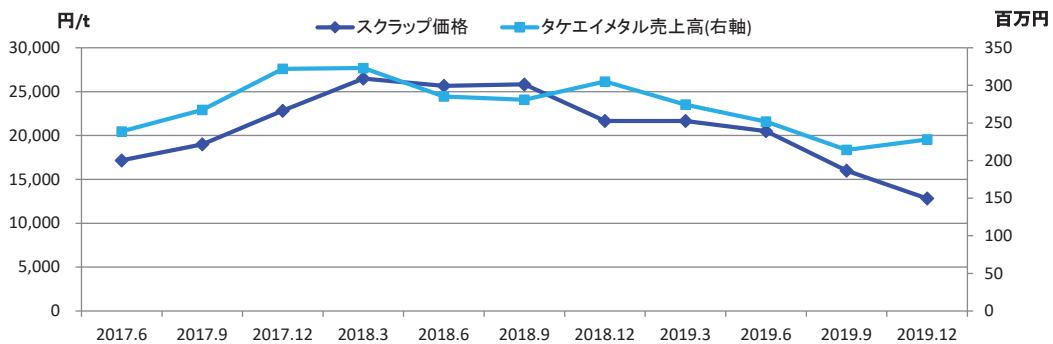
なお、2017(平成29)年度の一般廃棄物発生量は、約4,300万トンと公表されている。

一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成29年度)について(平成31年3月26日 環境省) <https://www.env.go.jp/press/106564.html>

→365日で割り「日量約12万トン」と仮定すれば、180万トン÷12万トン=15日…0.5か月分に相当する量の廃棄物が発生したと言える。

鉄スクラップ及び軽油価格と当社グループに与える影響

鉄スクラップ価格およびタケエイメタル売上高の推移



軽油価格およびタケエイ(連結)燃料費の推移

